

(別紙)「宝塚市子どもの読書活動推進計画(第4期)(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

・意見の募集期間 令和6年(2024年)1月11日(木)～2月13日(火)

・提出意見件数 18人 33件

※ ご意見ありがとうございます。

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1	計画全般に関する事			毎年、図書館が開催している、ことばの祭典ビブリオバトル大会の取り組みがとてもすばらしいと思います。子どもたちがいきいきと読みたい本、読んでおもしろかった本を紹介する取り組みは読書好きの子どもたちの輪を広げていると感じています。これからも図書館だよりなどでビブリオバトル大会で発表された本を紹介してください。どうぞよろしくお願いいたします。	【今後の取組の参考とさせていただきます】 学校教育課と図書館が協力して毎年開催していることばの祭典・ビブリオバトルでは、子どもたちが互いに本を紹介し合う中で、読書への興味と関心を高め、読書の楽しさを共有しています。今後も、ビブリオバトルを継続実施するとともに、ご提案のようにビブリオバトルで発表された本を図書館だより等で紹介するなど、普及啓発に努めてまいります。	—
2				(図書室に)司書さんが週に何日かいて下さることで、子供たちもいつでも本を借りられるという安心感とともに図書室という教室とは、また違った安心感のある場所になっているのかなと思いました。新しい本が入るとワクワクしながら、本を見ている子どもも多いので、本の充実も大切なことだと思います。また、図書ボランティアをすることで、これらを知ることができたので、保護者としては、ボランティアの取り組みや位置付けも重要だと感じました。	【今後の取組の参考とさせていただきます】 全小中学校に学校司書を配置することで、貸出冊数や学校図書館の環境整備などを向上させています。今後も、児童生徒にとって安心感のある場所づくりと本の充実などに努めてまいります。図書ボランティアの取り組みや位置付けの重要性は認識しておりますので、今後も引き続き連携してまいります。	—
3				小学校の図書室のある場所が教室の近くで足を運びやすい環境になっているのが子ども達にとってもいいし、新書も多く図書室の雰囲気もいいので居心地が良さそうに感じます。 低学年の図書のクラスで司書の先生の読み聞かせや、学期ごとの図書便りに載せた本が借りられることも多く感じます。	【今後の取組の参考とさせていただきます】 学校図書館では新着図書や話題本のコーナー、推薦図書コーナーを設置しています。また、読みやすい掲示物や季節ごとの飾りなどを工夫して、児童生徒にとって居心地の良い空間をつくっています。今後も、居心地の良い空間づくりに努めてまいります。	—
4				サイエンスなどの月刊誌など、継続して図書室に来る理由になる本があればいいと思います。普段、図書室にあまり足を運ばない子が興味をもつように多岐にわたる分野の本やリクエストに応えられる蔵書にブラッシュアップしつづけてほしいと思います。	【今後の取組の参考とさせていただきます】 教科に関する図書や課題図書、児童生徒のニーズに沿う図書などを中心に蔵書整備を行っています。今後も、児童生徒の興味関心につながる本や多岐にわたる分野の本の配備に努めてまいります。	—
5				市立図書館に、もう少し子ども用のイスがほしいです。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 市立図書館の子ども用のイスの増設につきましては、スペース面の制約がありますが、親子でくつろいで過ごせる図書館となるよう、工夫してまいります。	—
6				中央図書館、西図書館を伊丹市ことば蔵のように開館時間を夜8:00までにしてほしい。大人が使用できる机と椅子を増やしてほしいです。椅子はたくさんあるので助かっています。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 市立図書館の開館時間につきましては、毎週金曜日と7～8月の土曜日に午後7時までとしています。更なる開館時間延長につきましては、今後の課題として引き続き検討してまいります。大人が利用できる机と椅子につきましては、中央図書館の閲覧室に123席、調査相談室に42席設置しています。西図書館ではスペース面の制約があり、これ以上の増設は困難ですが、レイアウトや老朽化した設備の更新などによりできるだけ快適にお過ごしいただけるよう努めてまいります。	—
7				学校司書さんの小学校・中学校での読み聞かせの会など活躍してもらっていますが、図書館のボランティアさんと一緒に研修等ができればうれしいです。よろしくお願いいたします。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 学校の図書ボランティアや市立図書館のボランティアの方々が一緒に参加できるような研修の実施を検討してまいります。	—

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
8				<p>私たちのグループでは、コロナ感染拡大前、多い時には、市内9校の小学校の育成会にメンバーを派遣し、絵本の読み聞かせとストーリーテリングによるおはなし会を開いてきました。しかし、現在、おはなし会ができてるのは1校のみです。私たちには、再開の用意がありますが、再開しにくい育成会の事情もあると思います。育成会は、学校と家庭の間にあり、保護者からは、「家に帰るまでに宿題を済ませてほしい」「おやつを食べさせてほしい」「友だちと仲良く遊ばせてほしい」「季節の行事を体験させてほしい」「基本的な生活習慣の見守り・指導をしてほしい」などの要望が寄せられ、それに応えるだけで精一杯で、おはなし会どころではないところもあると見受けられます。育成会の子どもたちの読書環境を整えるには、まず、手に取りたくなくなる楽しい本がたくさんそばにあることではないでしょうか。雨で外遊びができない時、宿題が早く終わった時、ひとりで静かに過ごしたい時、体調がよくない時に、本があれば、きっと助けになるでしょう。そして「きょうは、先生が本を読もうか」と指導員に余裕ができたなら、子どもたちは、もっと喜んででしょう。育成会の本棚には、寄贈本などの古い本が多く見られます。年齢にあった良い本をたくさん備えてほしいものです。その上で、ボランティアによるおはなし会などを希望するのか指導員の声を聞く必要があると思います。</p>	<p>【今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>地域児童育成会は市内23小学校において、おやつ前後の時間で本を読む時間を作るなど大体同じような内容の保育を実施しておりますが、それぞれの育成会の取組として、支援員による帰りの会での絵本の読み聞かせ、長期休業中のイベントとしてお話し会を実施したり様々な取組を行っています。</p> <p>ボランティアや活動団体によるお話し会や読み聞かせなどのイベントについては、支援員間で情報の共有をしながら、各育成会の状況に応じて実施したいと考えています。</p> <p>また読書環境の整備については、図書館図書は団体貸し出しを活用するなど、児童の興味のあるもの、年齢にあった良い本と触れ合える機会ができるよう取り組んでいきます。</p>	—
9	計画全般に関すること			<p>幼稚園の保育時間、小学校の授業時間にも、私たちのグループのメンバーは、出向しておはなし会をしてきました。私が行っていた幼稚園2園のおはなし会は、コロナが少し落ち着いた頃に再開され、また別のメンバーが、新規に行くことになった園もありますが、小学校は、どこも再開していないのが、現状です。他のボランティアグループや個人の活動については、承知していませんが、コロナ以前のように行われているとは思えません。</p> <p>では、外部からのボランティア受け入れではなく、幼稚園や小学校・中学校の図書ボランティアの活動は、どうでしょうか。働く保護者が増え、ボランティアの人手不足のところもあります。活動内容は、また様々です。読み聞かせ、本の整理や貸し出し、図書室の飾りつけなど。ここで問題になるのは、ボランティアの質です。「子どもの本ならだれでも読める」「子どもに受ける本を読んだらいい」「地域の人ボランティアに入ることに意味がある」というような考えのもとに、安易に子どもたち、子どもの本に向き合っていないでしょうか。図書ボランティア交流会で、研修会も開かれたと聞きましたが、十分な予算を取って、継続的に専門的な知識が得られるような支援がなされるべきです。また、現在、各図書ボランティアが、どんな活動をしているのか把握できているのでしょうか。図書館とも連携を図るというのなら、図書館の担当者が、それぞれの実態(人数や活動日、活動内容)を知っておく必要があると思います。</p>	<p>【今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>図書ボランティアの中には専門的な知識がない方もいますが、読み聞かせに関する研修会を実施するなど資質向上に努めてまいります。</p> <p>市立図書館は、子どもの読書活動を支える中心的な役割をはたしています。本計画でも、市立図書館と関係機関やボランティアとの連携を重視しています。市立図書館は、このような連携を今後も継続しながら、ボランティアの実態を把握することに努め、子どもの読書活動に欠くことのできない機関として、積極的に活動してまいります。</p>	—
10				<p>学校司書は、ボランティアより子どもたちに近い存在です。その専門性に期待を寄せるところですが、司書の資格は持っているが、子どもの本についての知識はない、まして読み聞かせなどもしたこともないし、勉強したこともないという人もかなりいます。図書購入の際の選定を任せられても、わからないので、納入業者のカタログにあるセットものを選んでいくというの聞いたことがあります。こういう人たちのフォローは、できているのでしょうか。学校司書の研修こそ大切です。また、司書の配置・勤務時間の問題もあります。学校の規模に関わらず、1校にひとりの配置です。能力ある司書が、各クラスの図書の時間に入って、おはなし会やブックトークをしたいと思っても、時間がないのです。そして、高学年では図書の時間が少なく、他の教科に転用されたり、静かに座って本を読むことを担任に指示され、司書が入り込む余地がないという例もあります。せっかく配置された学校司書をもっと有効に役立ててほしいものです。</p>	<p>【今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>学校司書は学期に年3回の情報交換や事例紹介、講師を招聘しての講演など、専門性を向上させる研修会を実施しています。また、学校司書の勤務時間につきましては、今後も引き続き検討課題としてまいります。</p>	—

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
11				<p>「宝塚市子どもの読書活動推進計画(第4期)(案)」を支えるのは、確実な予算と質であり、計画を実現・実効性あるものには、乳幼児のいる家庭・保育・教育の現場の実態を知り、要望を丁寧に汲み取ることが重要と考えます。</p> <p>計画を計画で終わらせないために、予算を確保するには、どうしたらいいのでしょうか。良い本を各所にもっともっと購入して頂きたい。学校司書や図書ボランティアの研修会、広く一般向けの絵本やストーリーテリングの講座にも継続的な十分な予算を組んで頂きたい。家庭や保育、教育現場の実態を調査し、そこから上がる要望を実現できるように関係各所の連携を深めて頂きたいと思えます。</p>	<p>【今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>本計画の推進に当たっては、関係機関により構成する子どもの読書活動推進委員会において、本市の子どもの読書活動に関する活動状況や目標の達成状況などを把握することとしています。市立図書館を中心に学校はもちろん、幼稚園、保育所、育成会、児童館、健康推進課など子どもに関わる機関の相互の連携を密にしながら、子どもの読書活動を支えてまいります。資料の充実や研修に関する予算の確保につきましても努力してまいります。</p> <p>なお、学校図書館の図書費につきましては、計画的な配備ができるよう、予算確保に努めています。学校司書の研修会につきましては、学期に年3回の情報交換や事例紹介、講師を招聘しての講演など、専門性を向上させる研修会を実施しています。今後も、蔵書整備や資質向上につながる研修会を実施してまいります。</p>	—
12	計画全般に関する			<p>子どもが読書に楽しみを見出し、生涯にわたって親しむには、まず、大人同様読書が子どもにとって娯楽でなければならぬと思えます。子どもが本を読んだりお話を聞いたりした時、心底面白いと思わなければ、興味は容易に他のメディアに移ってしまいます。その娯楽が本質的で質が良ければ、成長の過程にある子どもには大人以上に、生涯にわたって「良い」人生を求め続ける糧になります。大人が子どもに何か教えるために本を利用すれば、子どもは敏感に押し付けがましさを感じます。大人自身が真に子どもと心底楽しめるお話や本を選び、それを適切に提供する能力を身につける努力が不可欠です。家庭でも図書館でも学校でも、子どもに関わる大人がそうした姿勢を堅持しなければ、子どもに読書の楽しみを伝えることはできなると考えます。これらの考え方を、子どもの読書推進の基本にしてください。</p>	<p>【今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>本計画では、基本目標として、「伝えよう読書の楽しさ 支えよう子どもの読書」を掲げ、子どもが読書を楽しむことこそ生涯にわたる読書習慣を身につけるために大切であるとしています。また、基本方針として、「子どもの自主的な読書活動を支援します」を挙げており、子ども自らが好きな本を手に取り、心から楽しんで読書できるように支えてまいります。</p>	—
13	こと			<p>小学生の児童と接することが多いのですが、公共図書館の存在自体を知らない児童が多いです。転入してきたばかりという子はわかるのですが、ずっと市内在住でもいったことない、と。すごくもったいなく感じてしまいます。例えば、小学校低学年の社会見学として図書館にいらしてみたり、ということをやってみると子が親に話して来館につながっていくのではないかな、ということをおもいます。せつかくの図書館なのだから、フルに活用できるような情報を与えられたら、と思えます。</p>	<p>【今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>子どもの読書活動に関わる施設が、市立図書館を中心に連携・協力をより強化して関連事業をさらに充実させていく必要があります。市立図書館では、毎年、市内の全小学1年生に対し、市立図書館の利用案内を配布しています。また、学校、幼稚園等の図書館見学を受け入れ、館内見学やおはなし会、貸出などを行っています。今後とも、市立図書館の利用啓発に努め、児童生徒に対して、公共図書館の存在や魅力を発信できる方法を検討してまいります。</p>	—
14				<p>子どもが小さい時から図書館でのイベントに参加させていただき親子で大切な思い出になっていますので引き続き乳幼児期からの取組をお願いします。学校図書館に、公共図書館の蔵書の中から貸し出していただくような取組(授業に限らず)が一層充実していくことを希望します。</p>	<p>【今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>本計画では「市立図書館における読書活動の推進」の一つとして、「図書館行事の充実など図書館利用のきっかけづくり」を掲げており、小さい頃から図書館に慣れ親しんでもらえるよう、今後も引き続き、図書館のイベントを充実させてまいります。現在、学校図書館には団体貸出の取組を行っていますが、さらに市立図書館の蔵書を学校図書館でより活用できるような取組を検討してまいります。</p>	—
15				<p>読書手帖、とてもよいアイデアだと思います。この手帖が学校にも広がるとういなど思いました。</p>	<p>【今後の取組の参考とさせていただきます】</p> <p>これからも子どもたちの自主的な読書活動が広がるように読書手帖の取組を進めてまいります。</p>	—

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
16				宝塚市子どもの読書活動推進計画(第4期)(案)に関する意見を以下に挙げます。 ・高校生世代対象の読書推進施策について具体的な記述を 読書調査結果などからもわかるように、一番の問題は現在不読者割合が高い高校生の読書状況です(国の計画でも問題点として挙げています)。高等学校は市立ではないとはいえ、宝塚市内にも多くの高校がありますし高校生住民がたくさん居住しています。図書館の利用について、基本的なデータをしっかりとって(p6のデータは中学生以下しかありませんでした)、高校生の読書推進についても考えるべきではないでしょうか。中央図書館では以前からヤングアダルトコーナーがありますが、今それが縮小されそしてまたサインもあまり目立つものではないのを残念に思っています。YAサービス(ティーンズサービス)は難しいところもありますが、まずコーナーを設けて表示をわかりやすく掲げたり、HPにヤングアダルト向けのページを設けるなどして、高校生世代の読書についても積極的な姿勢を示すべきではないでしょうか。	【今後の取組の参考とさせていただきます】 高校生世代対象の読書活動推進につきましては、ご指摘の通り課題と捉えています。本計画はおおむね18歳以下を対象としており、市立図書館の取組においても、図書館利用のきっかけづくりとして幅広い世代を対象として講演会やビブリオバトルなど多様なイベントを開催していますが、高校生の参加は少ない状況です。今後は、市内の高等学校との連携を深め、高校生の読書状況の把握に努め、SNSなど若い世代に届きやすい啓発活動にも力を入れ、高校生の読書活動の推進に取り組んでまいります。 また、中央図書館のヤングアダルトコーナーにつきましては、ライトノベルを中心に中高生に多く利用されていますが、ご提案頂いたように、表示の工夫や展示、ホームページの活用など、高校生世代への多様なアプローチに努めてまいります。	—
17	計画全般に関すること			・学校司書の積極的な活動のためにも待遇改善を 実績として学校司書の勤務日数が増え効果があったことがp9で述べられているように学校司書の働きによる効果を実感しておられるなら、計画の取組においても学校司書にどのように活動してもらうのか積極的に書き込めたいと思います。 学校司書に本格的に活躍してもらうには、まず年間130日間で満足せず、せめて児童生徒が登校している日には必ずいるというように児童生徒の登校日数(年間約200日前後と思われる)と同等の日数は最低限必要でしょう。図書館は利用者に対してのサービス以外にも間接的なサービスも多くあるのですから、本来は職員・教員と同等の勤務日数にすべきです。そしてまた雇用形態も常勤正規雇用に近い努力をしてほしい。長期的な視野にたった図書館運営があってこそ、学校図書館が児童生徒の読書センター・学習センター・情報センターになり得るのであり、そのためには学校司書の長期的安定的な雇用は不可欠です。	【今後の取組の参考とさせていただきます】 学校司書の勤務時間につきましては、今後も引き続き検討課題としてまいります。	—
18				・司書の資質向上のためにも正規雇用司書の増加を 年報によると、司書は会計年度職員が多くを占めています。計画中にある研究集会への参加には会計年度職員も対象に含まれているでしょうか? 長期の雇用が保証されない中では資質向上を図るのも難しいです。司書の職務は長期の安定した雇用があってこそ経験値を重ねて高められていくものだと思います。ぜひ会計年度の雇用ではなく、正規職員の司書を増やす方向で考えてほしいです	【今後の取組の参考にさせていただきます】 研究集会への参加は会計年度任用職員も対象としておりますが、研修と開館日が重なるため参加できる人数が限られることもあり、研修への参加は正規職員と比べると少なくなっております。今後も、より多くの職員が研修に参加して資質向上が図れるように努めてまいります。正規職員司書の増加につきましては、引き続き検討課題としてまいります。	—
19				・多様な子どもたちへの支援のためにも電子書籍の積極的な導入を コロナ禍の影響で、電子書籍導入を開始した図書館が増えました。市町によっては、小中学校の児童生徒は市町立図書館の電子書籍を読めるように取り計らっているところもあります。今回の宝塚市の読書推進計画では「研究」の語にとどまっています(p28)が、電子書籍は特別な支援を必要とする児童生徒にも活用してもらいやすい資料ですので、ぜひ先進事例等を研究して、電子書籍導入の検討を積極的に実行していただきたいです。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 電子書籍を図書館ホームページから利用する電子図書館サービスにつきましては、予算上の課題などもありますので、既に導入している図書館の利用状況等も参考にし、どのような内容でいつ導入するか検討してまいります。	—
20		2	1	子どもの読書活動推進計画(第4期)概要版(案)を全ページ、読ませていただきました。様々な取り組みに敬意を表します。「ぶちライブラリー」を5か所に新設されたことを初めて知りました。今後も啓発活動を積極的に行われますよう期待しています。2ページの1行目「想像力を豊かに」が述べられています。3ページの2行目「創造力を豊かに」の文字が違いますので、統一されたほうがすっきりします。ちなみに乳幼児期では想像力が中心で、それ以降は創造力も求められます。	【計画案に反映します】 ご指摘の通り、文字に違いがありました。「子どもの読書活動の推進に関する法律」第二条(基本理念)の文言である「創造力を豊かに」に統一します。 【今後の取組の参考にさせていただきます】 市立図書館では今後も子どもたちが本に出会える場所を増やすことに努めます。	2ページ1~2行目を以下のように修正します。 「子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするために、欠くことのできないものです。」

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
21		4		市サービスセンターで受け取った計画案がモノクロコピーだったためか、p4-6のグラフの色分けが全く分からないものになっていました。計画として発表される際には、モノクロコピーになってもわかるようにグラフ中のパタンを変えるなどした方がよいと思います。	【計画案に反映します】 モノクロ印刷時にグラフの色分けが分かりづらくなっており、申し訳ありませんでした。4ページから6ページのグラフの色を調整し、パターンを使用して、モノクロ印刷にしてもわかるように修正いたします。	4ページから6ページのグラフの色を調整し、パターンを使用して、モノクロ印刷になっても分かるように修正します。
22		7		ブックスタート事業について 絵本がいただけることは、とてもありがたいのですが、兄弟がいると、すでに持っていたり、いただいたりなどで、ブックスタートでもらえる本がかぶっていたので、2冊目は不要だな…となってしまいますので、いただける本がえらべたり、何セットからか選ぶ、などあればうれしいです。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 現在、ブックスタートでは3種類の絵本から1冊を選んでいただくようにしています。また、3種類とも既にお持ちのご家庭の方には別のものご用意しています。今後もブックスタート事業を継続し、家庭での読み聞かせの楽しさを伝えてまいります。	—
23	特定の部分に関する事	9	25	学校図書館司書の中には、学校図書室での貸し出し冊数にこだわる方が見受けられます。貸し出し量ではなく、子どもと本について深く学び、どれほど子どもと共に本を楽しんでいるかが評価の基準になるよう、また司書によって質が違いすぎることはないよう、根本的な学びができるような、普遍的で本質的な研修を行ってください。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 貸出冊数につきましては、学校教育課内の「図書活動推進事業」の成果指標にしています。学校司書の研修会につきましては、学期に年3回の情報交換や事例紹介、講師を招聘しての講演など、専門性を向上させる研修会を実施しています。	—
24		10	1	学校図書室の図書の選定、子どもに薦める本の選び方について。例えばイジメについての本が並べてあることがあります。社会問題になっているからです。しかし、例えば戦争の真只中にいる子どもに戦争の本を渡すでしょうか。渡して希望がわくでしょうか。同様にイジメに遭っている子どもは、自分の現実を本の中でまで経験したくないはず。大人が作った社会問題を子どもに見せつけるのは、大人にとっては何か対策を施している満足に当たるかもしれませんが、当事者である子どもには、本で読むことによって、言葉でも印象付けられることになって、本人の人生を前向きに朗かにさせることはできません。子どもは自分の将来を明るく見たいと思っているに違いありません。人間の良いところを、子ども時代には存分に味わわせてやって欲しいです。学校図書室の本の選定は、それを前提にするべきだと考えます。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 教科に関する図書や課題図書、児童生徒のニーズに沿う図書などを中心に蔵書整備を行っています。今後も、児童生徒の興味関心につながる本や多岐にわたる分野の本の配備に努めてまいります。	—
25		12	15	中央図書館では、児童の読書に関する講座やボランティア養成講座は、近年行われていません。ぱたばんのグループで細々とお勉強会を開きましたら、受講生からも要望が聞かれました。本当に子どもの満足を得られる本を選べるようになるためには、長い年月の学びが必要です。時代の流れに揺らぐことのない普遍性を備えた、息の長い講座の開催をお願いします。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 西図書館では、毎年ストーリーテリングボランティア養成講座を開催していますが、新規受講者が少ないことが課題になっております。ストーリーテリングや子どもの読書に関心を持ってもらえるよう、今後も普及啓発に努め、ボランティア活動の紹介を広く行うなど、ボランティア養成について検討してまいります。	—
26		13	24	「ア、蔵書や読書環境の充実」を課題にあげられておられます。それには何より各学校図書館の予算の増額だと思います。もっとたくさん本を買うことが出来れば子ども達の笑顔や本への気持ちも更に高まると思います。「読みたい本、借りたい本が何もない…」と言う子どもを0(ゼロ)にしたいです。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 学校図書館の図書費につきましては、計画的な配備ができるよう、予算確保に努めています。今後も、蔵書整備に努めてまいります。	—
27		14	キ デジタル化への対応 マイナンバーカードと利用者カードの一体化、ホームページによる予約・MY本棚の機能も、利便性の向上につながっていると思います。様々な取り組み、ありがとうございます。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 今後も、より利便性の向上につながる取組を続けてまいります。	—	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
28	特定の部分に関する	14		電子書籍、電子資料として、英語の原書、英語(多言語)学習のテキスト、多様性(こころや体、LGBTQ+)などの借りにくい内容の本、マンガを揃えて、電子図書サービス提供してほしいです。また、情報がわかりやすい地図、職業に関するもの、学校でよく使われる資料も電子資料として利用価値が高いと思います。<参考として>内閣府「R4. 青少年のインターネット利用環境実態調査結果」(2023. 2) 学校図書館協議会「第68回学校読書調査」(2023. 6月実施) 小説・図鑑・辞典などは「電子」より「紙」で読みやすい。マンガは「電子」が読みやすい。「知りたい気もちに火をつける!」木下通子 英語書籍や多様性の本は電子で購入して好評で良かったとある。 14ページ(キ)について 公共図書館のSNS発信が良いなど思ったのは、次の3つです。①「愛荘町立図書館 びんてまりの館/愛荘町」です。・Facebookで図書館のイベントや行事を発信。②地域と一緒に本を紹介しているところが良い・図書館リンク集からはアメリカ議会図書館児童書センターにアクセスできる③多摩美術大学図書館(YouTube)文字や音声はなく、映像と音楽だけでPRしています。おしゃれて、かつ、図書館の様子もよくわかるよう工夫されています。③図書館司書殺人事件.at富士吉田市立図書館(事件編)(解決編)なぞときをしなからPRしています。YA世代に楽しんでもらえるPR動画です(YouTube)	【今後の取組の参考にさせていただきます】 電子書籍を図書館ホームページから利用する電子図書館サービスにつきましては、予算上の課題などもありますので、既に導入している図書館の利用状況等も参考にし、どのような内容でいつ導入するか検討してまいります。ご意見は電子図書サービスを開始する際に内容検討の参考にさせていただきます。 ご紹介いただいたSNS発信についての先進事例を参考にさせていただき、より良い情報発信に努めてまいります。	—
29	29	11	オ ボランティアとの連携協力の(エ) 西図書館では毎年行われている絵本の読み聞かせ・ストーリーテリング講座が中央図書館では何年も行われていません。1か所だけの開催では人数のこともあり、通える方の地域のこともあり、限界があると感じます。中央図書館でも考えて下さるとありがたいです。現在ボランティアをしている人の年齢も高齢化し先細りになっています。子どもに真の喜びの読書の楽しみを知ってもらうには、大人の意識、大変な労力、長い時間が不可欠に感じます。とても期待します!!	【今後の取組の参考にさせていただきます】 西図書館では、毎年ストーリーテリングボランティア養成講座を開催していますが、新規受講者が少ないことが課題となっております。ストーリーテリングや子どもの読書に関心を持ってもらえるよう、今後も普及啓発に努めてまいります。また、受講者に対して、中央図書館でのボランティア活動の紹介を行うなど、ボランティアの養成について両館で検討してまいります。	—	
30	29	23	司書の資質向上について 子どもに、その子のその時に適した本を手渡すことが、子どもの読書活動を活発にする必要不可欠な条件です。そのためには、子どもをよく知り、子どもの本を深く広く知り、子どもと本を結びつける能力が必要とされます。児童室に来館する子どもをできるだけ身近に知り、また子どもの本1冊ずつを深く知るためには、相応の人数と資質が必要です。様々な年齢の子どもそれぞれに相応しい本かどうか、見極めるためには、子どもの発達についても深い知識が必要です。例えばピアトリス・ポターのピーター・ラビットのお話のシリーズがあります。長年石井桃子訳が愛されてきましたが、著作権がなくなって新しい訳の本が出版され始めました。それらが同じ幼い子どもの書架に並べられていますが、中身を調査すると、早川書房の新訳の本は、幼い子どもに必ずしも適しているとは言えないものがあると感じます。それらを1冊ずつ吟味して、例えばティーンエイジャーの書架に配置するなどの工夫が欲しいです。吟味する能力をつける研修をお願いします。その手間暇こそ、公共図書館でしか望めないものだと思います。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 市立図書館の司書の資質向上については、県立図書館をはじめとした司書の研修に参加するほか、館内でも研修に努めています。特に子どもの本や子どもの発達に関する知識に関しては、豊富な経験が必要と認識しており、今後も司書ひとりひとりが学びながら経験を積み重ねていけるよう努めてまいります。資料の書架配置については、場所の制約や別置することによるわかりにくさなどにも配慮しつつ、丁寧に内容を確認しながら検討してまいります。	—	
31	29	23	キ 司書の資質向上 宝塚の図書館は対面で本の貸し出し業務を行ってくれています。尋ねたい事も同時に対応して下さり、とても助かり有難いです。子どもへも貸し出し業務だけではなく生涯本好きになるよう、より深い本への一歩進んだアプローチを期待します。対面だからこそ出来る、人と本とのつながり広がり期待します。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 市立図書館では子どもたちに対面で対応することを大切にし、子どもたちと本の出会いがたくさん生まれるように努めております。これからも基本目標である「伝えよう読書の楽しさ 支えよう子どもの読書」を実現するため、対面だからこそできる取組を行ってまいります。	—	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
32	特定の部分に関する事	29	30	子ども達の意見を直接聞くことは大切だと思います。またそれをすぐに図書館運営に反映させる努力をしてくださることも嬉しいと思います。さらに、図書館利用の利便さだけでなく、真に子どもが欲しているものを嗅ぎ取って、その心に寄り添い、子どもが心底満足し、本ならではの、想像力を自由に広げられる経験を子どもにもたらしることができるよう、真摯に探り続ける姿勢を一番大切にしたいです。	【今後の取組の参考にさせていただきます】 本計画では、子どもたちの目線に立った読書活動の推進を行うこととしています。基本目標である「伝えよう読書の楽しさ 支えよう子どもの読書」を実現するため、子どもたちに寄り添った施策を行ってまいります。	—
33		32	1	○修正意見 表中「基本目標」は「基本方針」ではないでしょうか ○その他意見 計画の進み具合を評価するためとはいえ、指標にこだわるあまり、子どもたち読書習慣を厳しくしつけたり、「読書が嫌い」「しない」子どもが、何か悪いような風潮につながらないように、指標の示し方、読書指導には注意と配慮をお願いします。さじ加減の難しい取り組みですが、行き過ぎた指導が、読書離れにつながらないか心配しています。	【計画案に反映します】 ご指摘の通り、32ページ 1参考指標の表の「基本目標」は「基本方針」の誤りでしたので修正します。 【今後の取組の参考にさせていただきます】 計画の指標につきましては、基本方針の実現の目安として設定したもので、基本目標に掲げた「読書の楽しさ」を伝えることを第一に、子ども自身の自主的な読書活動を支えるよう努めてまいります。	32ページ 1参考指標の表の「基本目標」を「基本方針」に修正します。

(別紙)「宝塚市子どもの読書活動推進計画(第4期)(案)」に対するパブリック・コメント手続き以外での修正内容一覧表

*パブリック・コメント実施後に、以下のとおり修正しました。

No.	項目	ページ	行	該当箇所	修正前	修正後	意見区分	修正理由	
1	特定の部分に関すること	11	15	第1章 計画策定にあたって 2 第3期計画の取組状況 (3) 市立図書館における取組 ウ 家庭での読書活動の推進	(オ) 西図書館では図書館利用のための託児サービスを実施し、日頃、子育てに追われて図書館を利用できなかった保護者の方が利用しやすくなりました。	(オ) 西図書館では図書館利用のための託児サービスを実施し、日頃、子育てに追われて図書館を利用できなかった保護者の方が利用しやすくなりました。	1 職員 2 所管課 ③ その他 (文教生活常任委員会 所管事務調査)		
2								1 職員 2 所管課 3 その他 ()	
3									1 職員 2 所管課 3 その他 ()

該当する番号に○をつけてください。